

# Hoshikuzu

Oct.

772

★見えたぞ? ペルセウス座流星群★

★HAR★

去る、8月10日～13日に行われたペルセウス座流星群の観測会。今回は同時流星を捕えるべく、KCAOのほか熊大天研、女子大天文研、八代高校地学部、人吉高校地学部の参加で、八代上空100kmを目標に行われましたが...

★10日★ この日、KCAOでは畑田氏がひとりで写真の撮影・記録をやったとか...御苦労様

★11日★ 大学生数名がマークXにカメラ2台を載せての撮影。何故か流星はカメラの視野を避ける様に流れる。ええい、腹が立つ!この日、八代では2個、人吉では10個程の(四連カメラの威力?)捕えられたとか。ちなみにKCAOでは2個、残念ながら同時流星はなかった様です...

★12日★ この日はKCAOのメンバーが井無田高原に遠征。But、肝心の24h00mから雨が降り出しておじゃん。それまでは、銀河が雲の様に(!)見えていたそうですが...熊本では一晩中、雲が出たり晴れたりの変な天気。カメラ数台で撮影を続けましたが成果=0の様でした。

★13日★ この日は悪天候のため2日連続してやる予定だった井無田高原への遠征も中止。観測会転じて飲み会になったとか。



天文台と流星(撮影/原田治慶・熊大天研所属)

## 天文台の草刈りをやりました

古川 英生

9月18日に天文台の草刈りが行われましたのでそのときの様子を報告したいと思います。  
当日は雨が降りそりな曇り空でした。(実は降ってほしかった!)15時集合といふことでしたが15時30分を過ぎても集まったのはなんと6人。それでも仕方ないので始めたのですが、草刈り機を使ってくれるはずの工藤氏がまだ来てません。そこで我々が畑田氏がさっそうと刈り始めたのですが、初めてのせいかなかなか格好が決まらなくて刈れません。(後でプロの工藤氏が使ってみて歯がわるくて、だれがやってもあまり刈れないとわかりましたが)そんなこんなで、草刈り機・鎌・手などを駆使して18時過ぎまでやりました。おかげで天文台の敷地もけっこう広いもんだと改めてわかりました。小生は自転車なもので、先に失礼しましたが、後片付けをまかせてしまってすいません。そこで今回の収穫は、まず草。これは当然。そしてアイビース、さらにハチの巣とムカデでした。今回は糞りで作業はいくぶんやりやすかったみたいです。  
fin.

### 写真 説明

天文台で観月会の日撮った記念写真です。満月をバックにして写したため人物が小さくなってしまいました。さて、その満月を見て狼になって天文台で騒ぎまくった人もあるとか……



## ○ 観月会、陶醉編！



by 松下 太

去る、9月22日。翌日の秋分の日を前にして、約18名ほどが観月会に集まってきた。我輩は、すかした腹を弁当でいやし、これから行なわれるであろう酒飲み会？にひそかにそなえた。

やがて女子大の方々6名様が到着、お座敷には、なぜか独身族との境界線がつけられ、永井先生と官本さんのざっくばらんなあいさつ、投影機がカタカタ音をたて始めた。

話しは、お月さまのうさぎさんからクレーター成因説、はたまた軌道論？などなど、イラストや絵をもりこんだたくさんの方々のスライドをくしたもので、永井先生の博学、名解説ぶりには、改めて心あたたる思いだった。

かなり古いスライドに「あっ」という声があちこちから飛びこみ、思わず年を自白してしまうという場面も多々あった。

我輩は、薄暗い中“十六夜”万十にバクつきながらスライドと女子大の方々に目を散らつかせ、観の中は、西村さんからの突にありがたいビール20本の差し入れていっばいだった。

！時間半におよぶスライド投影が終り、気分はほとんどビールのあわのようになっていたが、が、しかし、「屋くずの発送の仕事を手伝って下さい！」というお言葉に、おあずけをくってしまうのであった。そんな言葉もなんのその、学生の仕事じゃと言いたげに、某J氏とN氏は冷蔵庫へと走り寄った。「あっ……」突然の奇声、そうです、そうなんです。我輩のどっぴおいたフライを落としてしまったのだ。（今更精算させていただきます！）J氏はビールをそそぐと一人乾杯と叫んだ。「まだですよ」と官本さん、おしかりの言葉、みんなの視線をあびるのであった。新入会員の中学生谷くんはジュースをつぎ、一声に乾杯のやりなおし、かくして本番は今、始まったのであった。冷蔵庫のビールは冷えるまもなく消化され、いい気分になったころ、熊大の天文同好会？人組がおしよせてきた。手ぶらでくるとはなにごとだ！

会話の中身は、若者のアニメから、老人の古い古いお話しまで……。トイレから帰ってくると、中では自己紹介が行なわれていた。我輩も一つ、……。いつしかグループができ、話しの花を咲かせているもの、無心にコンピューターをいじくっているもの、そこら辺に寝ころがっているもの、本格的に観測室で寝いっているものもありで、極地へと達するのであった。時計の針は午前4時、終曲を迎えたのであった。目をさますとAM9:30、我輩のバイトの時刻は、すでに過去のことと化していた。また飲みましょう。記事が遅れてすみませんでした。ではまた。おわり！

## 鏡みがきのお話

Y. Nakagawa

ただ今、9月12日(月曜)午後3時00分、天文台です。

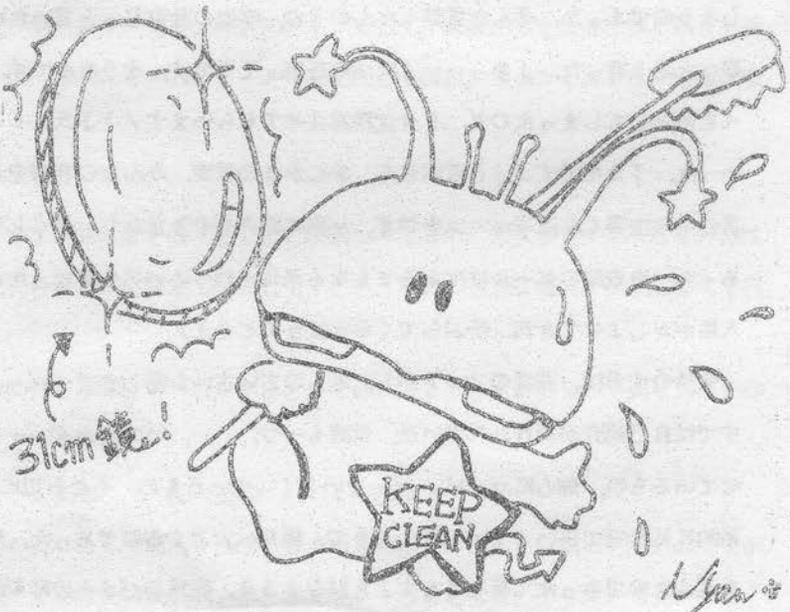
今日は、休台日。しかも まっ昼間、誰も来ないはずの天文台に、近くの農協職員さん2名が「場所がよくわからなかったからヒマつぶしに来てみました。」と言って、すぐ帰られる。

それと入れ変わりに、宮本さんと堀田さんが、迷車シビックで やってくる。で、さっそく、作業に取りかかる。六角レンチで31cmの鏡筒からセルごと鏡をはずす、これが以外と大変で、ヘタにネジをはずすと、鏡もろとも 床におっこってヒビでも入ったら、私めの貯金通帳の残額が0円になりはしないかと 冷アセものでした。でも、なんとか無事に取りはずし、一階でいよいよ、本番(!?)鏡みがきが始まったのであります。なにしろ、開所以来一度も掃除をしてなかったシロモノでホコリは厚さ数ミリ、とまではいかなくとも、そーと一曇っていたのは事実であります。

それを 宮本さんが丁寧に水洗いされ、ティッシュペーパーで慎重に水滴をとって、ドライヤーで水滴のあとが残らないように汗ダクになられていた。その間、私と堀田氏は鏡のない鏡筒(!?)の中を掃除したり、記念写真を撮ったり、宮本さんに、フーコーテストをやってみましょうと頼んだりしていたのでした。

そして、おまぢかねの フーコーテスト、おまけに、ロンキーテストまで行ない、鏡面の影の出かたや縞模様の見え方などを教えてもらったりして、初めて見るフーコーテストの影に感激してしまい、自分でも あんな風に鏡が磨けるようになったらいいなあー、などと生意気にも思ったりしたものでした。

せっかく 鏡面もお色直しをしたし、今からいい季節でもあるので 会員の皆さん、どんどん、星を見にやって来て下さい。運営委員一同、首を長くしてお待ちしております。おしまい。



# アウトドア展

OUT DOOR, つまり戸外で活動している同好会は多い。例えば 山登り, 魚釣り, パードウォッチング, 植物採集, きのこと研究, 自然食, 共同農場と, 甚だ多彩である。

溪流釣りのインストラクターをしている猪原氏(20年前旭精光の16センチ反赤を持っていた)から,「五家荘の民宿—平家荘で,民間団体としてサマースクールを開くからスライドや天体望遠鏡を持参して,星を見せて欲しい」とたのまれたのは昨夏のことである。その後スライド映写会にも参加し,世話役の江口氏(天文台の看板を作ってくれた人)と仲よくなった。彼は漫画家志望,転じて自営の看板屋さんになったが,彼のスライド作品で五家荘の冬景色や秋の紅葉を撮ったものには,並々ならぬ自然への愛を感じさせるものがある。彼の誘いによって,今年もサマースクールに参加し,その人員の増加ぶりに全く驚いたのである。

10月には,再び一堂に会して各グループの活動ぶりを一般の方々に見て頂こうというのが,第2回アウトドア展である。テーマは「自然と人間・その共生と共遊をまさぐる」であった。熊本県民天文台は私個人の資格で参加したが,会員数名の方にお手伝い願って,贈かでもPRに役立ったものと自負している。

(Y. MIYAMOTO)

10月1日から2日にかけて,熊本市内の某書店2Fでアウトドア展が開かれた。官本台長がいつなら暇だろうと思われたのか,ちょっと来いとお声がかかった。今までアウトドア展なんぞ知らなかったので,さぞやむさ苦しい男どもの集まりだろうと思って会場へ向かった。会場にはいったとたん,異様な臭いが鼻をついた。山菜やら川魚やらいろんな料理の臭いが混った妙な臭いだ。ちょっと悪い予感を感じながら,先に来られていた官本さんに一言,「すごい臭いですね。」

コーヒーを一杯ごちそうになって,臭いにも馴れ,会場の各パートをさっそくひやかして一まわり。アウトドアと一口にいってもいろいろあるもので,野鳥の会や登山関係,きこの会や釣などまあアウトドアと考えられるものは一応勢揃いの感じ。そして,その一角に熊本県民天文台のコーナーがあり,10枚程度の天体写真が展示してあった。そこで,一般のお客さんに説明らしきものをした訳だけれども,意外に女性客と,他のサークルには女性会員が多い。男ばかりでなにやら説明している天文台は少し寂しかった。また,他のサークルはビデオやら日頃愛用の道具等が展示しており,我々の写真だけの展示は少しジミかなと思った。官本さんと,天文台だからといって望遠鏡一台置いてもショーモないし,スライドをやるとクライシ,ビデオで星が撮れれば少しは派手になるんでしょがねーと話しながら,とにかくお客さんには一度は天文台へとPRをしてきた。

来年はあなたもどうですか?世の中,物好きは多いもんですヨ。(M. KOBAYASHI)

## 資料募集のお知らせ

工藤 哲生

県民天文台がスタートして1年と4ヶ月が過ぎ、新しい会員の方々もだいぶ増えられ、色々な観測会の時も毎回沢山の人が天文台に集まり、ある時にはマスコミ関係の取材も何回となく受けるようになって来ております。

さて、そんな状況の中、天文台として各方面に出せる資料、天体写真が大変不足しております。会員の中にはすぐれた天体写真を多数持ちながら自分だけの物として寝らせている人も少なくないと思います。また、これから沢山写真を撮影するぞと張り切っておられる方へ資料収集係からお願いです。写真とデータを提供して下さい。詳しくは下記をごらん下さい。

### 募集内容

月令・月面・惑星・・・・・・・・・・3.1センチ使用

星雲・星団・・・・・・・・・・メッシュ天体、NGO天体

彗星・流星・星座・固定星野・・＊自信作をお願いします。雑誌入選作でもOK。

### 写真の取り扱いについて

スライド写真 記録用紙(雑誌応募用で可)にデータを記入し枠に添付、又枠にも一応のデータを記入して下さい。キズが付かないように記録用紙に包んで提出。

＊スライドは天文台に提供して頂くこととなりますので、複写スライドでもOKとします。

白黒、カラーネガ 一般的なサービスサイズにプリントして、記録用紙を裏側に軽く貼り(後で整理の時はがします)又、写真にも一応のデータを記入して提出、ネガフィルムは一応撮影者にて保管して下さい。

### 提出の方法

天文台内に募集ボックスを設置しますのでどしどし投稿して下さい。天文台まで来られない方は雑誌応募の要領で県民天文台資料収集係まで郵送して下さい。写真の整理は毎月1回収集係にて行ないます。

その他 撮影者が次に何を写せばよいのかがひと目でわかるように次の項目の写真リストを作成し台内に提示します。

1. 月令
2. メッシュ天体
3. 星座
4. 惑星

最後に、以上は天文台の資料として利用されますのである程度よい作品をお願いしたいのですが、その他に、これは人に教えてあげたい失敗例とか、エピソードのある写真により雑誌写真の募集もやりますのでよろしく、(白黒とカラープリントのみ)取り扱いは前記と同じです。 右へ

## インフォメーション コーナー

### ★ 定例観測会

日時 10月23日(日) 19:00より ※雨天曇天中止です。

場所 県民天文台(熊本バス 城南町稲由崎瀬行で藤山下車 歩いて10分)

バスの時刻は、17時と19時05分センター発があります。なお、バスの人は、帰りの事もありますので一応事務局 24-3500 か天文台098428-6060 まで詳細は、星曆11月号にて。

### ★ 元祖定例観測会 秋季号

日時は、11月2/3日(水/木)で、18時30分に養浩くらしのセンター駐車場(南熊本店)に集合してください。そこから会員の車で天文台へ行きます。

申し込み方法は、事務局 24-3500 永井氏・宮本氏までか天文台まで。

持参品は、夕食と夜食そして防寒具をお忘れなく。

対象は、二重星・星座を天然プラネタリウムのもとでプラネのプロである永井・宮本両氏の解説で星雲・星団を31cm望遠鏡を使用して小林昌樹氏が、惹人に教えるごとくみなさんに説明してくれます。その他、天体写真の撮り方やテレビゲームまで。

※ 雨天決行します。ドンドン参加下さいませ。

### ☆☆☆ 白巫祭へ ご案内 ☆☆☆

熊本女子大 天文部

はじめまして、こちらは熊本女子大天文部です。女子大では、来たる11月4日(金)~6日(日)に大学祭(「白巫祭」)があり、私たち天文部では5日(土)、6日(日)の2日間を白巫祭に参加する予定として、今少しづつですが準備をすすめています。どんなことをやるかといいますと、プラネタリウムと展示と占いです。と言いましても、初心者、無経験者を対象にした解かりやすいものを作りたと思っています。また、室内は休憩所的フンイ気で落ちついたムードでせまってみたく思いますので、両日、長嶺近辺にいられましたら、ぜひ白巫祭を御覧になり、天文部(2番教室)でごゆるりと休んでいただきたいと思っております。

最後になりましたが、観月会は楽しませていただいて、ありがとうございます。大変勉強になり、部員一同、大変喜んでおります。

最後に、賞品等は今の所考えておりませんが、より充実した天文台をめざし皆様の御協力をお願い致します。

おわり

## ☆☆ 星を見る会 11月編

毎度、おなじみ“星を見る会”です。日時は、11月11日の17時30分から20時00分まで、熊本大学理学部(黒髪南キャンパスの東側にある古い校舎)入口に矢印で星を見る会と書いてあります。望遠鏡を使用して半月やアンドロメダ大星雲など観望します。

天文台までの足のない人・天文楽者の人・初心者の人におすすめの会です。※無料が、またいい!

## ☆ アマチュア天文研究発表大会

日本中にいるアマチュア天文家の研究発表の場としての大会が、10月23日の日曜日、川崎市高津区新作1777(電話044-888-3131)の川崎市民プラザで開かれます。

内容は、高度で難かしいですけれどもただ星を見る天文楽でなくこういった星の見方があるのだなあ〜といった経験をするよい機会です。熊本からちょっと遠いのですが、ぶらり東京見物をしてみては、また、東京在往の県民天文台会員(特派員)のみなさんぜひとも参加して、県民天文台の為に報告レポートを星屑に書いてください。

## ☆☆☆ RADIO “ビバ・スカイウォッチング”

ラジオ・短波では、上記番組を火曜夜10時20分からパーソナリティーは、久保田早紀さんです。受験その他で星の見れない人ならこの番組でフラストレーションを発散するとよいのでは、ないでしょうか!

## 編集後記

この号の星屑は、前回で(えーっ、個人的な理由なんですけど...)編集を引退した僕に代わってHot氏が殆ど編集をやってくれた人で僕としては余り書く事はないのですが...何やらスペースの都合?とやらでHot氏に喜びと言われたんで書いてます。Hot氏、原稿がなかなか集まらないんで苦労してた様ですが...原稿のメ切りはキチンと守る様に、星屑の編集は傍目で見るとより大変ですので。

(HAR)

やっと星屑の編集を終りました。編集2回目となるとすこしは、コツをつかんだと思います。実際は、もっと早く星屑を出したかったのですが、なかなか記事(観月会など)が、書いてくれないこの記事を省略するわけにもいかずに Tei を2回、家に押掛けること2回行ってやっと書いてくれました。みなさん、記事をたのまれたら期限まで書いて下さい。

さて、今月の星屑は、あまりまとまりもなく熊本天文情報誌になってしまいました。この星屑に自己紹介の記事「県民天文台のお嬢さん」のコーナーを写真(当然、カメラマンは、古庄和生氏)入りで作って本屋で売りますか。エトセトラ熊本をぬくぞ〜。

(HOT)